

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	書写	4	6

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村
基礎・基本の 定着	<p>1 単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目標」と明記して、小单元ごとに示している。 ・1学年の目標の数は3。 <p>2 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に毛筆、硬筆それぞれの正しい姿勢、鉛筆の持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、墨のすり方、後片付け、構え方の写真やイラストで、2ページにわたり示している。 ・筆の持ち方・構え方については、大筆が単鉤法、双鉤法、懸腕法、小筆が提腕法、枕腕法を、写真及びイラストで提示している。 	<p>1 単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目標を確かめよう」という意味の旗の記号と共に、小单元ごとに示している。 ・1学年の目標の数は4。 <p>2 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に毛筆の正しい姿勢、鉛筆の持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、墨のすり方、片付け方を、硬筆についても姿勢と構え方、鉛筆の持ち方を、写真やイラストで、5ページにわたり示している。 ・筆の持ち方・構え方については、大筆が単鉤法、双鉤法、懸腕法、小筆が提腕法、枕腕法を、写真で提示している。 	<p>1 単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目標」と明記して、小单元ごとに示している。 ・1学年の目標の数は5。 <p>2 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に毛筆の正しい姿勢、鉛筆、ボールペンの持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、墨のすり方、後片付け、構え方、筆の各部分の名称の写真を2ページにわたり示している。 ・筆の持ち方・構え方については、大筆が単鉤法、双鉤法、懸腕法、小筆が提腕法、枕腕法を、写真で提示している。 	<p>1 単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目標」と明記して、小单元ごとに示している。 ・1学年の目標の数は2。 <p>2 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に毛筆の正しい姿勢、鉛筆の持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、後片付け、構え方の写真を2ページにわたり示している。 ・筆の持ち方・構え方については、大筆が単鉤法、双鉤法、小筆が提腕法、枕腕法を、写真で提示している。

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <p>○学習過程の示し方と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書写の学習の進め方」では、目標、見つけよう、確かめよう、生かそう、振り返って話そう、生活に広げよう、となる学習の流れを示している。 <p>○示し方の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校書写で学習したことを、1学年冒頭の「小学校での学習を振り返ろう」では、実際に書いて確かめるように示している。 ・「見つけよう」では、硬筆文字から課題を考えさせている。 ・「書写のかぎ」では、文字を正しく書くためのポイントを掲載し、教材文字の左に「書写のかぎ」を示している。 ・複数単元ごとに「まとめ」と「書写テスト」が設定され、学習内容を確認・評価させている。 	<p>1 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <p>○学習過程の示し方と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の流れ」では、目標を確かめよう、書き方を学ぼう、見つけよう・考えよう、毛筆で書こう、学習を振り返ろう、書いて身につけよう、自分の言葉でまとめよう、と基本となる学習の流れを示している。 <p>○示し方の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年のはじまりと、3学年の学習の終わりに、自分の文字を比較できるページがある。 ・「書き方を学ぼう」を基に、「見つけよう・考えよう」では、書き方のポイントが他の文字のどこに使われているか考えさせている。 ・「書き方を学ぼう」では、書き方のポイントを字形例とともに、楷書と行書 10 種類で示している。 ・毛筆で習得したことを、他教科の学習や日常生活・社会生活で 	<p>1 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <p>○学習過程の示し方と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の進め方」では、目標、考えよう、生かそう、振り返ろう、学習や日常生活に生かそう、と基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習における学び方を写真等で示している。 <p>○示し方の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年冒頭で、小学校書写で学習したことを振り返りながら対話するように示している。 ・「考えよう」では、示された観点を基に課題を発見し、課題を解決していく学び方や話し合い活動を通した学び方を示している。 ・毛筆で習得したことを生かして、硬筆で書き込めるページがある。 ・「振り返ろう」では、評価の観点に沿って「○=できた」「△=もう少し」で自己評価を記入した 	<p>1 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <p>○学習過程の示し方と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の進め方」では、考えよう、確かめよう、生かそう、学習を振り返る、と基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示している。 <p>○示し方の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校書写で学習したことが「学習のはじめに」整理され、小学校で学んだことを確認させている。 ・「考えよう」では、考えたり話し合ったりし、課題を見つけさせている。 ・「学習の窓」では、日常生活に欠かせない文字を整えて書くためのポイントを示している。 ・「学習を振り返る」では、評価の観点に沿って自己評価をしたり、「書写ブック」で練習したりする活動が示されている。

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
	<ul style="list-style-type: none"> ・「振り返って話そう」では、目標を達成できたかや「書写のかぎ」や書写用語を使って、学んだことを説明する活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> も活用できるように、硬筆による書き込みページが設けられている。 ・単元末の「自分の言葉でまとめよう」の「振り返ろう」では、学んだことが実際に活用できているかを書いて確認し、「自分で学んだことを書き残そう。」では、学んだことを自分の言葉でまとめさせている。 	<ul style="list-style-type: none"> り、試し書きとまとめ書きを比べて、よくなったところを伝え合う相互評価したりする活動が示されている。 	
内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B 判、 ・ 本編 92 ページ、資料編 38 ページ 1 単元・教材や資料等の配列 ・ 総ページ数 <ul style="list-style-type: none"> 1 学年 (44+折込 1) 2 学年 (30+折込 1) 3 学年 (18+折込 1) 資料編等 (38+折込 1) ・ 毛筆教材数 <ul style="list-style-type: none"> 1 学年 (13) 2 学年 (9) 3 学年 (5) ・ 硬筆記入ページ <ul style="list-style-type: none"> 1 学年 (19) 2 学年 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 5 判 ・ 本編 67 ページ、資料編 47 ページ 1 単元・教材や資料等の配列 ・ 総ページ数 <ul style="list-style-type: none"> 1 学年 (36+折込 1) 2 学年 (22+折込 1) 3 学年 (9+折込 1) 資料編等 (47+折込 1) ・ 毛筆教材数 <ul style="list-style-type: none"> 1 学年 (8) 2 学年 (8) 3 学年 (3) 補充教材 (12) ・ 硬筆記入ページ <ul style="list-style-type: none"> 1 学年 (13) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B 判 ・ 本編 89 ページ、資料編 41 ページ 1 単元・教材や資料等の配列 ・ 総ページ数 <ul style="list-style-type: none"> 1 学年 (44+折込 1) 2 学年 (32+折込 1) 3 学年 (13+折込 1) 巻末資料 (41+折込 1) ・ 毛筆教材数 <ul style="list-style-type: none"> 1 学年 (10) 2 学年 (9) 3 学年 (7) ・ 補充教材 (13) ・ 硬筆記入ページ <ul style="list-style-type: none"> 1 学年 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 5 判 ・ 本編 77 ページと資料編 48 ページ、「書写ブック」24 ページ 1 単元・教材や資料等の配列 ・ 総ページ数 <ul style="list-style-type: none"> 1 学年 (29+折込 1) 2 学年 (27+折込 1) 3 学年 (19+折込 1) 巻末資料 (41+折込 1) ・ 毛筆教材数 <ul style="list-style-type: none"> 1 学年 (15) 2 学年 (8) 3 学年 (5) ・ 硬筆記入欄 <ul style="list-style-type: none"> 1 学年 (16) 2 学年 (13) 3 学年 (8)

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
	<p>3 学年（1） 資料編等（2）</p> <p>2 伝統と文化に関する内容の記述 ・ 1 学年の単元は、6 単元 9 ページ</p> <p>楷書の書き方を確かめよう 「仮名の書き方と字形」 文字のいづみ 「いろは歌」 「文字の成り立ちと移り変わり」 「伝統的な用具・用材」 「書き初めをしよう」 「書いて味わおう『竹取物語』」 ・ 3 年間で 17 単元 28 ページ</p> <p>○ 発展的な学習の扱い ・ 各学年末に「文字のいづみ」として、書き初め、書写の歴史や古典を題材とした教材等を掲載している。 ・ 高等学校の内容として、唐の四大家の文字の比較を扱っている。</p>	<p>2 学年（7） 3 学年（0）</p> <p>2 伝統と文化に関する内容の記述 ・ 1 学年の単元は 3 単元 5 ページ</p> <p>楷書と仮名 「仮名の字形と筆遣い」 仮名の字形／文字の大きさと配列 学びを広げる「文字の変遷」 ・ 3 年間で 7 単元 14 ページ</p> <p>○ 発展的な学習の扱い ・ 資料編に、書写を日常生活に生かす教材や書き初め、毛筆の補充教材を掲載している。 ・ 高等学校の内容として、中国や日本の書の古典を扱っている。</p>	<p>2 学年（11） 3 学年（3）</p> <p>2 伝統と文化に関する内容の記述 ・ 1 学年の単元は 5 単元 10 ページ</p> <p>コラム 「筆、墨、硯、紙について知ろう」 「文字の変遷」 「行書学習のはじめに」 楷書と仮名を調和させて書こう 「楷書に調和する仮名『いろは歌』」 「学習を生かして書く一行の中心ー」 ・ 3 年間で 13 単元 25 ページ</p> <p>○ 発展的な学習の扱い ・ 資料編に書写を日常生活に生かす教材や書写のテスト問題、情報の整理の仕方を掲載している。 ・ 高等学校の内容として、巻末で「芸術としての書道」を扱っている。</p>	<p>2 伝統と文化に関する内容の記述 ・ 1 学年の単元は 3 単元 6 ページ</p> <p>楷書に調和する仮名 コラム「文字の歴史を探る」 季節のしおり 1 ・ 3 年間で 8 単元 15 ページ</p> <p>○ 発展的な学習の扱い ・ 資料編に、書写を日常生活に生かす教材や書き初め等を掲載している。 ・ 高等学校の内容として、中国の書家を扱っている。</p>

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
内容の 表現・表記	<p>1 配色、レイアウト等表現・表記の工夫</p> <p>○第1学年「行書 点画の変化」の学習では、筆脈を点線で示している。また、朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、「四つの動き」を示すアイコンで筆使いを示している。</p> <p>○紙面構成等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページ ・右ページに学習のポイントを示し、左ページに半紙形の紙面で教材文字を示している。 ・「見つけよう」には、楷書と行書を並べて示している。教材文字の下に書き込み欄を配置している。 <p>○デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当する目次と該当箇所には、「Dマーク」を示し、全28箇所ある。(1年：11教材、2年：8教材、3年：5教材、書写ブック：4箇所) 	<p>1 配色、レイアウト等表現・表記の工夫</p> <p>○第1学年「行書 点画の変化」の学習では、筆脈を青の矢印や点線で示し、言葉で解説している。また、行書の文字(朱墨)と、楷書(黒字)の文字を並べて示している。</p> <p>○紙面構成等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページ ・右ページに書き方のポイントを示し、左ページに半紙形の紙面で教材文字を示している。 ・「書き方を学ぼう」では、楷書と行書で書かれた文字を上下に示している <p>○デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基礎編」「学習のはじめに」にある二次元コードからコンテンツにアクセスできる。 ・毛筆の姿勢と構え方、大筆の持ち方、小筆の持ち方・構え方、筆の運び方、用具の扱い方、硬筆の姿勢と構え方、鉛筆の持ち方について掲載している。 	<p>1 配色、レイアウト等表現・表記の工夫</p> <p>○第1学年「行書 点画の変化」の学習では、筆順と筆脈を矢印や点線で示し、言葉で解説している。また、朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、「変化」を示すアイコンと写真で筆使いを示している。</p> <p>○紙面構成等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページ ・左ページにポイントを示し、右ページに半紙形の紙面で教材文字を示している ・「試し書き」では、楷書で字形を確認し、その下に行書で書く欄がある。 ・半紙形の紙面には、青色の中心線が示されている。 <p>○デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当する箇所には、「まなびリンク」二次元コードのマークを示し、全16箇所ある。(1年：7箇所、2年：5箇所、3年：3箇所、補充教材集：1箇所) 	<p>1 配色、レイアウト等表現・表記の工夫</p> <p>○第1学年「行書 点画の変化」の学習では、朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、写真と言葉で筆使いを示している。また、半紙原寸大の教材文字の横に、朱墨と薄墨で筆使いを示している。</p> <p>○紙面構成等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで、学習の進め方を示している。 ・見開き2ページで、半紙原寸大の教材文字を示している。 ・「①考えよう」では、楷書と行書を左右に並べて示している。 <p>○デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当する箇所には、二次元コードを示し、全42箇所ある。(1年：15教材、2年：10教材、3年：7教材、補充教材：10箇所)

発行者 観点	2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村
言語活動の 充実	<p>1 学習や日常生活に生きる言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の終わりに「生活に広げよう」というページがあり、学習したことを日常の掲示物や記述の場面で活用させている。 1 学年「案内の手紙を書こう」「年賀状を書こう」「職場訪問をしよう」 2 学年「本のポップを書こう」「防災訓練に参加しよう」 3 年「思いを文字で表そう」 	<p>1 学習や日常生活に生きる言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年とも「やってみよう」を設定している。 1 学年「グループ新聞を作ろう」 2 学年「情報誌を作ろう」 3 学年「名言集を作ろう」 	<p>1 学習や日常生活に生きる言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 学年「校庭の植物観察をレポートにまとめる」「お薦めの本の帯やポップを作る」等。 2 学年「新聞を書く」「掲示物(ポスター)に案内を書く」等 3 学年「三年間の学習の成果を生かそう」「メッセージカード」「書き初めを書く」「未来の自分に向けて手紙を書こう」等 	<p>1 学習や日常生活に生きる言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「日常に役立つ書式」という単元があり、「手紙の書き方」「はがきの書き方」「入学願書の書き方」等を掲載している。 「文字を使い分ける」という単元があり、様々な書体で書かれた身近な文字を掲載している。 「名文を書いてみよう」の単元で古文・現代文を書く活動がある。